

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【公開番号】特開2006-238067(P2006-238067A)

【公開日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【年通号数】公開・登録公報2006-035

【出願番号】特願2005-49952(P2005-49952)

【国際特許分類】

H 04 N 5/91 (2006.01)

H 03 M 7/30 (2006.01)

H 04 N 7/26 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/91 P

H 03 M 7/30 Z

H 04 N 7/13 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月27日(2007.8.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも第1のアクセスユニットと第2のアクセスユニットから構成される入力データのうちの前記第1のアクセスユニットから、1以上の第1の領域を設定する第1の設定手段と、

前記第1の設定手段により設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、処理対象の前記第1の領域と、前記第2のアクセスユニットにおける処理対象の前記第1の領域に対応する第2の領域との差分を算出し、その結果得られる差分領域を、処理対象の前記第1の領域に対応する処理領域として設定し、その処理領域から複数の処理データを設定する第2の設定手段と、

前記第2の設定手段により設定された1以上の前記処理領域のそれぞれを1以上の分析対象のそれぞれに設定し、1つの前記処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換するための基底を、分析対象毎に個別に生成する分析手段と、

前記第2の設定手段により設定された1以上の前記処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、処理対象の前記処理領域が分析対象として設定されたときに前記分析手段により生成された前記基底を利用して、処理対象の前記処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換する変換手段と

を備えることを特徴とするデータ変換装置。

【請求項2】

少なくとも第1のアクセスユニットと第2のアクセスユニットから構成される入力データのうちの少なくとも一部の表現形式を変換するデータ変換装置のデータ変換方法であつて、

前記第1のアクセスユニットから、1以上の第1の領域を設定する第1の設定ステップと、

前記第1の設定ステップの処理により設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、処理対象の前記第1の領域と、前記第2のアクセスユニ

ットにおける処理対象の前記第1の領域に対応する第2の領域との差分を算出し、その結果得られる差分領域を、処理対象の前記第1の領域に対応する処理領域として設定し、その処理領域から複数の処理データを設定する第2の設定ステップと、

前記第2の設定ステップの処理により設定された1以上の前記処理領域のそれぞれを1以上の分析対象のそれぞれに設定し、1つの前記処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換するための基底を、分析対象毎に個別に生成する分析ステップと、

前記第2の設定ステップの処理により設定された1以上の前記処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、処理対象の前記処理領域が分析対象として設定されたときに前記分析手段により生成された前記基底を利用して、処理対象の前記処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換する変換ステップと

を含むことを特徴とするデータ変換方法。

【請求項3】

少なくとも第1のアクセスユニットと第2のアクセスユニットから構成される入力データのうちの少なくとも一部の表現形式を変換する装置を制御するコンピュータに実行させるプログラムであって、

前記第1のアクセスユニットから、1以上の第1の領域を設定する第1の設定ステップと、

前記第1の設定ステップの処理により設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、処理対象の前記第1の領域と、前記第2のアクセスユニットにおける処理対象の前記第1の領域に対応する第2の領域との差分を算出し、その結果得られる差分領域を、処理対象の前記第1の領域に対応する処理領域として設定し、その処理領域から複数の処理データを設定する第2の設定ステップと、

前記第2の設定ステップの処理により設定された1以上の前記処理領域のそれぞれを1以上の分析対象のそれぞれに設定し、1つの前記処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換するための基底を、分析対象毎に個別に生成する分析ステップと、

前記第2の設定ステップの処理により設定された1以上の前記処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、処理対象の前記処理領域が分析対象として設定されたときに前記分析手段により生成された前記基底を利用して、処理対象の前記処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換する変換ステップと

を含むプログラムを記録していることを特徴とする記録媒体。

【請求項4】

少なくとも第1のアクセスユニットと第2のアクセスユニットから構成される入力データのうちの少なくとも一部の表現形式を変換する装置を制御するコンピュータに実行させるプログラムであって、

前記第1のアクセスユニットから、1以上の第1の領域を設定する第1の設定ステップと、

前記第1の設定ステップの処理により設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、処理対象の前記第1の領域と、前記第2のアクセスユニットにおける処理対象の前記第1の領域に対応する第2の領域との差分を算出し、その結果得られる差分領域を、処理対象の前記第1の領域に対応する処理領域として設定し、その処理領域から複数の処理データを設定する第2の設定ステップと、

前記第2の設定ステップの処理により設定された1以上の前記処理領域のそれぞれを1以上の分析対象のそれぞれに設定し、1つの前記処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換するための基底を、分析対象毎に個別に生成する分析ステップと、

前記第2の設定ステップの処理により設定された1以上の前記処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、処理対象の前記処理領域が分析対象として設定されたときに前記分析手段により生成された前記基底を利用して、処理対象の前記処理領域を構成す

る複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換する変換ステップと
を含むことを特徴とするプログラム。

【請求項 5】

少なくとも第1のアクセスユニットと第2のアクセスユニットから構成される入力データが元データとされて、

前記第1のアクセスユニットから、1以上の第1の領域が設定され、

設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、処理対象の前記第1の領域と、前記第2のアクセスユニットにおける処理対象の前記第1の領域に対応する第2の領域との差分が算出され、その結果得られる差分領域が、処理対象の前記第1の領域に対応する第1の処理領域として設定され、その第1の処理領域から複数の処理データが設定され、

設定された1以上の前記第1の処理領域のそれぞれが1以上の分析対象のそれぞれに設定され、1つの前記第1の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換するための基底が、分析対象毎に個別に生成され、

設定された1以上の前記第1の処理領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、処理対象の前記第1の処理領域が分析対象として設定されたときに生成された前記基底を利用して、処理対象の前記第1の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式が変換され、その結果、表現形式が変換された複数の前記処理データから構成される1以上の第2の処理領域のそれぞれが生成され、

生成された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれに対して、それぞれの生成に利用された前記基底がそれぞれ対応付けられて重畳されたデータが、入力データのうちの少なくとも一部として入力されるデータ逆変換装置であって、

前記入力データから、1以上の前記第2の処理領域のそれぞれと、それぞれに対応づけられた前記基底のそれぞれとを分離する分離手段と、

前記分離手段により前記入力データから分離された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、前記分離手段により前記入力データから分離された前記基底のうちの処理対象の前記第2の処理領域に対応付けられた基底を利用して、処理対象の前記第2の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を逆変換することで、1以上の前記差分領域のそれぞれを生成する逆変換手段と、

前記逆変換手段により生成された1以上の前記差分領域のそれぞれに対応する1以上の前記第2の領域のそれぞれを、前記第2のアクセスユニットから抽出する抽出手段と、

前記逆変換手段により生成された1以上の前記差分領域のそれぞれと、前記抽出手段により抽出された1以上の前記第2の領域のうちの対応する1つとを加算することで、前記第1のアクセスユニットから設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを生成する加算手段と

を備えることを特徴とするデータ逆変換装置。

【請求項 6】

少なくとも第1のアクセスユニットと第2のアクセスユニットから構成される入力データが元データとされて、

前記第1のアクセスユニットから、1以上の第1の領域が設定され、

設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、処理対象の前記第1の領域と、前記第2のアクセスユニットにおける処理対象の前記第1の領域に対応する第2の領域との差分が算出され、その結果得られる差分領域が、処理対象の前記第1の領域に対応する第1の処理領域として設定され、その第1の処理領域から複数の処理データが設定され、

設定された1以上の前記第1の処理領域のそれぞれが1以上の分析対象のそれぞれに設定され、1つの前記第1の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換するための基底が、分析対象毎に個別に生成され、

設定された1以上の前記第1の処理領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、処理対象の前記第1の処理領域が分析対象として設定されたときに生成された前記基底

を利用して、処理対象の前記第1の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式が変換され、その結果、表現形式が変換された複数の前記処理データから構成される1以上の第2の処理領域のそれぞれが生成され、

生成された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれに対して、それぞれの生成に利用された前記基底がそれぞれ対応付けられて重畳されたデータが、入力データのうちの少なくとも一部として入力されるデータ逆変換装置のデータ逆変換方法であって、

前記入力データから、1以上の前記第2の処理領域のそれぞれと、それぞれに対応づけられた前記基底のそれぞれとを分離する分離ステップと、

前記分離ステップの処理により前記入力データから分離された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、前記分離ステップの処理により前記入力データから分離された前記基底のうちの処理対象の前記第2の処理領域に対応付けられた基底を利用して、処理対象の前記第2の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を逆変換することで、1以上の前記差分領域のそれぞれを生成する逆変換ステップと、

前記逆変換ステップの処理により生成された1以上の前記差分領域のそれぞれに対応する1以上の前記第2の領域のそれぞれを、前記第2のアクセスユニットから抽出する抽出ステップと、

前記逆変換ステップの処理により生成された1以上の前記差分領域のそれぞれと、前記抽出ステップの処理により抽出された1以上の前記第2の領域のうちの対応する1つとを加算することで、前記第1のアクセスユニットから設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを生成する加算ステップと

を含むことを特徴とするデータ逆変換方法。

【請求項7】

少なくとも第1のアクセスユニットと第2のアクセスユニットから構成される入力データが元データとされて、

前記第1のアクセスユニットから、1以上の第1の領域が設定され、

設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、処理対象の前記第1の領域と、前記第2のアクセスユニットにおける処理対象の前記第1の領域に対応する第2の領域との差分が算出され、その結果得られる差分領域が、処理対象の前記第1の領域に対応する第1の処理領域として設定され、その第1の処理領域から複数の処理データが設定され、

設定された1以上の前記第1の処理領域のそれぞれが1以上の分析対象のそれぞれに設定され、1つの前記第1の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換するための基底が、分析対象毎に個別に生成され、

設定された1以上の前記第1の処理領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、処理対象の前記第1の処理領域が分析対象として設定されたときに生成された前記基底を利用して、処理対象の前記第1の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式が変換され、その結果、表現形式が変換された複数の前記処理データから構成される1以上の第2の処理領域のそれぞれが生成され、

生成された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれに対して、それぞれの生成に利用された前記基底がそれぞれ対応付けられて重畳されたデータが、入力データのうちの少なくとも一部として入力される装置を制御するコンピュータに実行させるプログラムであって、

前記入力データから、1以上の前記第2の処理領域のそれぞれと、それぞれに対応づけられた前記基底のそれぞれとを分離する分離ステップと、

前記分離ステップの処理により前記入力データから分離された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、前記分離ステップの処理により前記入力データから分離された前記基底のうちの処理対象の前記第2の処理領域に対応付けられた基底を利用して、処理対象の前記第2の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を逆変換することで、1以上の前記差分領域のそれぞれを生成する逆変

換ステップと、

前記逆変換ステップの処理により生成された1以上の前記差分領域のそれぞれに対応する1以上の前記第2の領域のそれぞれを、前記第2のアクセスユニットから抽出する抽出ステップと、

前記逆変換ステップの処理により生成された1以上の前記差分領域のそれぞれと、前記抽出ステップの処理により抽出された1以上の前記第2の領域のうちの対応する1つとを加算することで、前記第1のアクセスユニットから設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを生成する加算ステップと

を含むプログラムを記録していることを特徴とする記録媒体。

【請求項8】

少なくとも第1のアクセスユニットと第2のアクセスユニットから構成される入力データが元データとされて、

前記第1のアクセスユニットから、1以上の第1の領域が設定され、

設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、処理対象の前記第1の領域と、前記第2のアクセスユニットにおける処理対象の前記第1の領域に対応する第2の領域との差分が算出され、その結果得られる差分領域が、処理対象の前記第1の領域に対応する第1の処理領域として設定され、その第1の処理領域から複数の処理データが設定され、

設定された1以上の前記第1の処理領域のそれぞれが1以上の分析対象のそれぞれに設定され、1つの前記第1の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換するための基底が、分析対象毎に個別に生成され、

設定された1以上の前記第1の処理領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、処理対象の前記第1の処理領域が分析対象として設定されたときに生成された前記基底を利用して、処理対象の前記第1の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式が変換され、その結果、表現形式が変換された複数の前記処理データから構成される1以上の第2の処理領域のそれぞれが生成され、

生成された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれに対して、それぞれの生成に利用された前記基底がそれぞれ対応付けられて重畳されたデータが、入力データのうちの少なくとも一部として入力される装置を制御するコンピュータに実行させるプログラムであって、

前記入力データから、1以上の前記第2の処理領域のそれぞれと、それぞれに対応づけられた前記基底のそれぞれとを分離する分離ステップと、

前記分離ステップの処理により前記入力データから分離された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、前記分離ステップの処理により前記入力データから分離された前記基底のうちの処理対象の前記第2の処理領域に対応付けられた基底を利用して、処理対象の前記第2の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を逆変換することで、1以上の前記差分領域のそれぞれを生成する逆変換ステップと、

前記逆変換ステップの処理により生成された1以上の前記差分領域のそれぞれに対応する1以上の前記第2の領域のそれぞれを、前記第2のアクセスユニットから抽出する抽出ステップと、

前記逆変換ステップの処理により生成された1以上の前記差分領域のそれぞれと、前記抽出ステップの処理により抽出された1以上の前記第2の領域のうちの対応する1つとを加算することで、前記第1のアクセスユニットから設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを生成する加算ステップと

を含むプログラムを記録していることを特徴とするプログラム。

【請求項9】

少なくとも第1のアクセスユニットと第2のアクセスユニットから構成される入力データのうちの前記第1のアクセスユニットから、1以上の第1の領域を設定する第1の設定手段と、

前記第1の設定手段により設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、処理対象の前記第1の領域についての、前記第2のアクセスユニットに対する動きベクトルを推定する動きベクトル推定手段と、

前記第1の設定手段により設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、前記第2のアクセスユニットにおける、処理対象の前記第1の領域の位置から、前記動きベクトル推定手段により推定された処理対象の前記第1の領域についての前記動きベクトルに対応する分だけ離間している第2の領域を抽出し、処理対象の前記第1の領域と抽出された前記第2の領域との差分を算出し、その結果得られる差分領域を、処理対象の前記第1の領域に対応する処理領域として設定し、その処理領域から複数の処理データを設定する第2の設定手段と、

前記第2の設定手段により設定された1以上の前記処理領域のそれぞれを1以上の分析対象のそれぞれに設定し、1つの前記処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換するための基底を、分析対象毎に個別に生成する分析手段と、

前記第2の設定手段により設定された1以上の前記処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、処理対象の前記処理領域が分析対象として設定されたときに前記分析手段により生成された前記基底を利用して、処理対象の前記処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換する変換手段と

を備えることを特徴とするデータ変換装置。

【請求項10】

前記入力データに対してアナログ歪みを生じさせるアナログ歪み生成手段
をさらに備えることを特徴とする請求項9に記載のデータ変換装置。

【請求項11】

前記分析手段は、処理対象の前記処理領域について、設定された前記分析領域を複数の分析データに分割し、複数の前記分析データを対象とする主成分分析を行うことで、処理対象の前記処理領域を構成する複数の前記処理データの表現形式を変換するための前記基底を生成する

ことを特徴とする請求項9に記載のデータ変換装置。

【請求項12】

前記変換手段により表現形式が変換された複数の前記処理データから構成される1以上の前記処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、処理対象の前記処理領域に対して、前記動きベクトル推定手段により推定された前記動きベクトルのうちの、処理対象の前記処理領域に対応する前記第1の領域についての前記動きベクトルを対応付けて重畠し、その結果得られるデータを出力する出力手段

をさらに備えることを特徴とする請求項9に記載のデータ変換装置。

【請求項13】

少なくとも第1のアクセスユニットと第2のアクセスユニットから構成される入力データのうちの少なくとも一部の表現形式を変換するデータ変換装置のデータ変換方法であつて、

前記第1のアクセスユニットから、1以上の第1の領域を設定する第1の設定ステップと、

前記第1の設定ステップの処理により設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、処理対象の前記第1の領域についての、前記第2のアクセスユニットに対する動きベクトルを推定する動きベクトル推定ステップと、

前記第1の設定ステップの処理により設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、前記第2のアクセスユニットにおける、処理対象の前記第1の領域の位置から、前記動きベクトル推定ステップの処理により推定された処理対象の前記第1の領域についての前記動きベクトルに対応する分だけ離間している第2の領域を抽出し、処理対象の前記第1の領域と抽出された前記第2の領域との差分を算出し、その結果得られる差分領域を、処理対象の前記第1の領域に対応する処理領域として設定し、その処理領域から複数の処理データを設定する第2の設定ステップと、

前記第2の設定ステップの処理により設定された1以上の前記処理領域のそれぞれを1以上の分析対象のそれぞれに設定し、1つの前記処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換するための基底を、分析対象毎に個別に生成する分析ステップと、

前記第2の設定ステップの処理により設定された1以上の前記処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、処理対象の前記処理領域が分析対象として設定されたときに前記分析ステップの処理により生成された前記基底を利用して、処理対象の前記処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換する変換ステップとを含むことを特徴とするデータ変換方法。

【請求項14】

少なくとも第1のアクセスユニットと第2のアクセスユニットから構成される入力データのうちの少なくとも一部の表現形式を変換する装置を制御するコンピュータに実行させるプログラムであって、

前記第1のアクセスユニットから、1以上の第1の領域を設定する第1の設定ステップと、

前記第1の設定ステップの処理により設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、処理対象の前記第1の領域についての、前記第2のアクセスユニットに対する動きベクトルを推定する動きベクトル推定ステップと、

前記第1の設定ステップの処理により設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、前記第2のアクセスユニットにおける、処理対象の前記第1の領域の位置から、前記動きベクトル推定ステップの処理により推定された処理対象の前記第1の領域についての前記動きベクトルに対応する分だけ離間している第2の領域を抽出し、処理対象の前記第1の領域と抽出された前記第2の領域との差分を算出し、その結果得られる差分領域を、処理対象の前記第1の領域に対応する処理領域として設定し、その処理領域から複数の処理データを設定する第2の設定ステップと、

前記第2の設定ステップの処理により設定された1以上の前記処理領域のそれぞれを1以上の分析対象のそれぞれに設定し、1つの前記処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換するための基底を、分析対象毎に個別に生成する分析ステップと、

前記第2の設定ステップの処理により設定された1以上の前記処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、処理対象の前記処理領域が分析対象として設定されたときに前記分析ステップの処理により生成された前記基底を利用して、処理対象の前記処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換する変換ステップとを含むプログラムを記録していることを特徴とする記録媒体。

【請求項15】

少なくとも第1のアクセスユニットと第2のアクセスユニットから構成される入力データのうちの少なくとも一部の表現形式を変換する装置を制御するコンピュータに実行させるプログラムであって、

前記第1のアクセスユニットから、1以上の第1の領域を設定する第1の設定ステップと、

前記第1の設定ステップの処理により設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、処理対象の前記第1の領域についての、前記第2のアクセスユニットに対する動きベクトルを推定する動きベクトル推定ステップと、

前記第1の設定ステップの処理により設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、前記第2のアクセスユニットにおける、処理対象の前記第1の領域の位置から、前記動きベクトル推定ステップの処理により推定された処理対象の前記第1の領域についての前記動きベクトルに対応する分だけ離間している第2の領域を抽出し、処理対象の前記第1の領域と抽出された前記第2の領域との差分を算出し、その結果得られる差分領域を、処理対象の前記第1の領域に対応する処理領域として設定し、その処理領域から複数の処理データを設定する第2の設定ステップと、

前記第2の設定ステップの処理により設定された1以上の前記処理領域のそれぞれを1以上の分析対象のそれぞれに設定し、1つの前記処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換するための基底を、分析対象毎に個別に生成する分析ステップと、

前記第2の設定ステップの処理により設定された1以上の前記処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、処理対象の前記処理領域が分析対象として設定されたときに前記分析ステップの処理により生成された前記基底を利用して、処理対象の前記処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換する変換ステップとを含むことを特徴とするプログラム。

【請求項16】

少なくとも第1のアクセスユニットと第2のアクセスユニットから構成されるデータが元データとされて、

前記第1のアクセスユニットから、1以上の第1の領域が設定され、

設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、処理対象の前記第1の領域についての、前記第2のアクセスユニットに対する動きベクトルが推定され、

設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、前記第2のアクセスユニットにおける、処理対象の前記第1の領域の位置から、処理対象の前記第1の領域についての前記動きベクトルに対応する分だけ離間している第2の領域を抽出し、処理対象の前記第1の領域と抽出された前記第2の領域との差分が算出され、その結果得られる差分領域が、処理対象の前記第1の領域に対応する第1の処理領域として設定され、その第1の処理領域から複数の処理データが設定され、

設定された1以上の前記第1の処理領域のそれぞれが1以上の分析対象のそれぞれに設定され、1つの前記第1の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換するための基底が、分析対象毎に個別に生成され、

設定された1以上の前記第1の処理領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、処理対象の前記第1の処理領域が分析対象として設定されたときに生成された前記基底を利用して、処理対象の前記第1の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式が変換され、その結果、表現形式が変換された複数の前記処理データから構成される1以上の第2の処理領域のそれぞれが生成され、

生成された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれに対して、それぞれの生成に利用された前記基底と、それに対応する前記動きベクトルとがそれ対応付けられて重畳されたデータが、入力データのうちの少なくとも一部として入力されるデータ逆変換装置であって、

前記入力データから、1以上の前記第2の処理領域のそれぞれと、それに対応づけられた前記基底のそれぞれと前記動きベクトルのそれぞれとを分離する分離手段と、

前記分離手段により前記入力データから分離された1以上の前記第2の処理領域のそれを処理対象に1つずつ順次設定し、前記分離手段により前記入力データから分離された前記基底のうちの処理対象の前記第2の処理領域に対応付けられた基底を利用して、処理対象の前記第2の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を逆変換することで、1以上の前記差分領域のそれを生成する逆変換手段と、

前記分離手段により前記入力データから分離された1以上の前記第2の処理領域のそれを処理対象に1つずつ順次設定し、前記第2のアクセスユニットにおける、処理対象の前記第2の処理領域の位置から、前記分離手段により前記入力データから分離された前記動きベクトルのうちの処理対象の前記第2の処理領域に対応付けられた前記動きベクトル分だけ離間した領域を、処理対象の前記第2の処理領域に対応する前記第2の領域として抽出する抽出手段と、

前記逆変換手段により生成された1以上の前記差分領域のそれぞれと、前記抽出手段により抽出された1以上の前記第2の領域のうちの対応する1つとを加算することで、前記第1のアクセスユニットから設定された1以上の前記第1の領域のそれを生成する加

算手段と

を備えることを特徴とするデータ逆変換装置。

【請求項 17】

前記元データにはアナログ歪みが生じている

ことを特徴とする請求項16に記載のデータ逆変換装置。

【請求項 18】

少なくとも第1のアクセスユニットと第2のアクセスユニットから構成されるデータが元データとされて、

前記第1のアクセスユニットから、1以上の第1の領域が設定され、

設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、処理対象の前記第1の領域についての、前記第2のアクセスユニットに対する動きベクトルが推定され、

設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、前記第2のアクセスユニットにおける、処理対象の前記第1の領域の位置から、処理対象の前記第1の領域についての前記動きベクトルに対応する分だけ離間している第2の領域を抽出し、処理対象の前記第1の領域と抽出された前記第2の領域との差分が算出され、その結果得られる差分領域が、処理対象の前記第1の領域に対応する第1の処理領域として設定され、その第1の処理領域から複数の処理データが設定され、

設定された1以上の前記第1の処理領域のそれぞれが1以上の分析対象のそれぞれに設定され、1つの前記第1の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換するための基底が、分析対象毎に個別に生成され、

設定された1以上の前記第1の処理領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、処理対象の前記第1の処理領域が分析対象として設定されたときに生成された前記基底を利用して、処理対象の前記第1の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式が変換され、その結果、表現形式が変換された複数の前記処理データから構成される1以上の第2の処理領域のそれぞれが生成され、

生成された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれに対して、それぞれの生成に利用された前記基底と、それぞれに対応する前記動きベクトルとがそれぞれ対応付けられて重畳されたデータが、入力データのうちの少なくとも一部として入力されるデータ逆変換装置のデータ逆変換方法であって、

前記入力データから、1以上の前記第2の処理領域のそれぞれと、それぞれに対応づけられた前記基底のそれぞれと、それぞれに対応する前記動きベクトルのそれぞれとを分離する分離ステップと、

前記分離ステップの処理により前記入力データから分離された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、前記分離ステップの処理により前記入力データから分離された前記基底のうちの処理対象の前記第2の処理領域に対応付けられた基底を利用して、処理対象の前記第2の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を逆変換することで、1以上の前記差分領域のそれぞれを生成する逆変換ステップと、

前記分離ステップの処理により前記入力データから分離された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、前記第2のアクセスユニットにおける、処理対象の前記第2の処理領域の位置から、前記分離ステップの処理により前記入力データから分離された前記動きベクトルのうちの処理対象の前記第2の処理領域に対応付けられた前記動きベクトル分だけ離間した領域を、処理対象の前記第2の処理領域に対応する前記第2の領域として抽出する抽出ステップと、

前記逆変換ステップの処理により生成された1以上の前記差分領域のそれぞれと、前記抽出ステップの処理により抽出された1以上の前記第2の領域のうちの対応する1つとを加算することで、前記第1のアクセスユニットから設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを生成する加算ステップと

を含むことを特徴とするデータ逆変換方法。

【請求項 19】

少なくとも第1のアクセスユニットと第2のアクセスユニットから構成されるデータが元データとされて、

前記第1のアクセスユニットから、1以上の第1の領域が設定され、

設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、処理対象の前記第1の領域についての、前記第2のアクセスユニットに対する動きベクトルが推定され、

設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、前記第2のアクセスユニットにおける、処理対象の前記第1の領域の位置から、処理対象の前記第1の領域についての前記動きベクトルに対応する分だけ離間している第2の領域を抽出し、処理対象の前記第1の領域と抽出された前記第2の領域との差分が算出され、その結果得られる差分領域が、処理対象の前記第1の領域に対応する第1の処理領域として設定され、その第1の処理領域から複数の処理データが設定され、

設定された1以上の前記第1の処理領域のそれぞれが1以上の分析対象のそれぞれに設定され、1つの前記第1の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換するための基底が、分析対象毎に個別に生成され、

設定された1以上の前記第1の処理領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、処理対象の前記第1の処理領域が分析対象として設定されたときに生成された前記基底を利用して、処理対象の前記第1の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式が変換され、その結果、表現形式が変換された複数の前記処理データから構成される1以上の第2の処理領域のそれぞれが生成され、

生成された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれに対して、それぞれの生成に利用された前記基底と、それぞれに対応する前記動きベクトルとがそれぞれ対応付けられて重畳されたデータが、入力データのうちの少なくとも一部として入力される装置を制御するコンピュータに実行させるプログラムであって、

前記入力データから、1以上の前記第2の処理領域のそれぞれと、それぞれに対応づけられた前記基底のそれぞれと、それぞれに対応する前記動きベクトルのそれぞれとを分離する分離ステップと、

前記分離ステップの処理により前記入力データから分離された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、前記分離ステップの処理により前記入力データから分離された前記基底のうちの処理対象の前記第2の処理領域に対応付けられた基底を利用して、処理対象の前記第2の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を逆変換することで、1以上の前記差分領域のそれぞれを生成する逆変換ステップと、

前記分離ステップの処理により前記入力データから分離された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、前記第2のアクセスユニットにおける、処理対象の前記第2の処理領域の位置から、前記分離ステップの処理により前記入力データから分離された前記動きベクトルのうちの処理対象の前記第2の処理領域に対応付けられた前記動きベクトル分だけ離間した領域を、処理対象の前記第2の処理領域に対応する前記第2の領域として抽出する抽出ステップと、

前記逆変換ステップの処理により生成された1以上の前記差分領域のそれぞれと、前記抽出ステップの処理により抽出された1以上の前記第2の領域のうちの対応する1つとを加算することで、前記第1のアクセスユニットから設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを生成する加算ステップと

を含むプログラムを記録していることを特徴とする記録媒体。

【請求項 20】

少なくとも第1のアクセスユニットと第2のアクセスユニットから構成されるデータが元データとされて、

前記第1のアクセスユニットから、1以上の第1の領域が設定され、

設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、処

理対象の前記第1の領域についての、前記第2のアクセスユニットに対する動きベクトルが推定され、

設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、前記第2のアクセスユニットにおける、処理対象の前記第1の領域の位置から、処理対象の前記第1の領域についての前記動きベクトルに対応する分だけ離間している第2の領域を抽出し、処理対象の前記第1の領域と抽出された前記第2の領域との差分が算出され、その結果得られる差分領域が、処理対象の前記第1の領域に対応する第1の処理領域として設定され、その第1の処理領域から複数の処理データが設定され、

設定された1以上の前記第1の処理領域のそれぞれが1以上の分析対象のそれぞれに設定され、1つの前記第1の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換するための基底が、分析対象毎に個別に生成され、

設定された1以上の前記第1の処理領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、処理対象の前記第1の処理領域が分析対象として設定されたときに生成された前記基底を利用して、処理対象の前記第1の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式が変換され、その結果、表現形式が変換された複数の前記処理データから構成される1以上の第2の処理領域のそれぞれが生成され、

生成された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれに対して、それぞれの生成に利用された前記基底と、それぞれに対応する前記動きベクトルとがそれぞれ対応付けられて重畳されたデータが、入力データのうちの少なくとも一部として入力される装置を制御するコンピュータに実行させるプログラムであって、

前記入力データから、1以上の前記第2の処理領域のそれぞれと、それぞれに対応づけられた前記基底のそれぞれと、それぞれに対応する前記動きベクトルのそれぞれとを分離する分離ステップと、

前記分離ステップの処理により前記入力データから分離された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、前記分離ステップの処理により前記入力データから分離された前記基底のうちの処理対象の前記第2の処理領域に対応付けられた基底を利用して、処理対象の前記第2の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を逆変換することで、1以上の前記差分領域のそれぞれを生成する逆変換ステップと、

前記分離ステップの処理により前記入力データから分離された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、前記第2のアクセスユニットにおける、処理対象の前記第2の処理領域の位置から、前記分離ステップの処理により前記入力データから分離された前記動きベクトルのうちの処理対象の前記第2の処理領域に対応付けられた前記動きベクトル分だけ離間した領域を、処理対象の前記第2の処理領域に対応する前記第2の領域として抽出する抽出ステップと、

前記逆変換ステップの処理により生成された1以上の前記差分領域のそれぞれと、前記抽出ステップの処理により抽出された1以上の前記第2の領域のうちの対応する1つとを加算することで、前記第1のアクセスユニットから設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを生成する加算ステップと

を含むことを特徴とするプログラム。

【請求項21】

画像データの表現形式を変換する変換部と、前記画像データの、前記変換部により変換された表現形式を逆変換する逆変換部とを構成要素として含む情報処理システムにおいて、

前記変換部は、

少なくとも第1のアクセスユニットと第2のアクセスユニットから構成される画像データが入力データとして入力され、

前記第1のアクセスユニットから、1以上の第1の領域を設定する第1の設定手段と、

前記第1の設定手段により設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、処理対象の前記第1の領域と、前記第2のアクセスユニットにお

ける処理対象の前記第1の領域に対応する第2の領域との差分を算出し、その結果得られる差分領域を、処理対象の前記第1の領域に対応する処理領域として設定し、その処理領域から複数の処理データを設定する第2の設定手段と、

前記第2の設定手段により設定された1以上の前記処理領域のそれぞれを1以上の分析対象のそれぞれに設定し、1つの前記処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換するための基底を、分析対象毎に個別に生成する分析手段と、

前記第2の設定手段により設定された1以上の前記処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、処理対象の前記処理領域が分析対象として設定されたときに前記分析手段により生成された前記基底を利用して、処理対象の前記処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換する変換手段と

を有する

ことを特徴とする情報処理システム。

【請求項22】

画像データの表現形式を変換する変換部と、前記画像データの、前記変換部により変換された表現形式を逆変換する逆変換部とを構成要素として含む情報処理システムにおいて、

前記変換部は、

少なくとも第1のアクセスユニットと第2のアクセスユニットから構成される画像データが入力データとして入力され、前記第1のアクセスユニットから、1以上の第1の領域を設定する第1の設定手段と、

前記第1の設定手段により設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、処理対象の前記第1の領域についての、前記第2のアクセスユニットに対する動きベクトルを推定する動きベクトル推定手段と、

前記第1の設定手段により設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、前記第2のアクセスユニットにおける、処理対象の前記第1の領域の位置から、前記動きベクトル推定手段により推定された処理対象の前記第1の領域についての前記動きベクトルに対応する分だけ離間している第2の領域を抽出し、処理対象の前記第1の領域と抽出された前記第2の領域との差分を算出し、その結果得られる差分領域を、処理対象の前記第1の領域に対応する処理領域として設定し、その処理領域から複数の処理データを設定する第2の設定手段と、

前記第2の設定手段により設定された1以上の前記処理領域のそれぞれを1以上の分析対象のそれぞれに設定し、1つの前記処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換するための基底を、分析対象毎に個別に生成する分析手段と、

前記第2の設定手段により設定された1以上の前記処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、処理対象の前記処理領域が分析対象として設定されたときに前記分析手段により生成された前記基底を利用して、処理対象の前記処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換する変換手段と

を有する

ことを特徴とする情報処理システム。

【請求項23】

画像データの表現形式を変換する変換部と、前記画像データの、前記変換部により変換された表現形式を逆変換する逆変換部とを構成要素として含む情報処理システムにおいて、

前記変換部、または、前記変換部以外の装置により、

少なくとも第1のアクセスユニットと第2のアクセスユニットから構成される画像データが元データとされ、

前記第1のアクセスユニットから、1以上の第1の領域が設定され、

設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、処理対象の前記第1の領域と、前記第2のアクセスユニットにおける処理対象の前記第1の領域に対応する第2の領域との差分が算出され、その結果得られる差分領域が、処理対

象の前記第1の領域に対応する第1の処理領域として設定され、その第1の処理領域から複数の処理データが設定され、

設定された1以上の前記第1の処理領域のそれぞれが1以上の分析対象のそれぞれに設定され、1つの前記第1の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換するための基底が、分析対象毎に個別に生成され、

設定された1以上の前記第1の処理領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、処理対象の前記第1の処理領域が分析対象として設定されたときに生成された前記基底を利用して、処理対象の前記第1の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式が変換され、その結果、表現形式が変換された複数の前記処理データから構成される1以上の第2の処理領域のそれぞれが生成され、

生成された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれに対して、それぞれの生成に利用された前記基底がそれぞれ対応付けられて重畳されたデータが、入力データのうちの少なくとも一部として前記逆変換部に入力され、

前記逆変換部は、

前記入力データから、1以上の前記第2の処理領域のそれぞれと、それぞれに対応づけられた前記基底のそれぞれとを分離する分離手段と、

前記分離手段により前記入力データから分離された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、前記分離手段により前記入力データから分離された前記基底のうちの処理対象の前記第2の処理領域に対応付けられた基底を利用して、処理対象の前記第2の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を逆変換することで、1以上の前記差分領域のそれぞれを生成する逆変換手段と、

前記逆変換手段により生成された1以上の前記差分領域のそれぞれに対応する1以上の前記第2の領域のそれぞれを、前記第2のアクセスユニットから抽出する抽出手段と、

前記逆変換手段により生成された1以上の前記差分領域のそれぞれと、前記抽出手段により抽出された1以上の前記第2の領域のうちの対応する1つとを加算することで、前記第1のアクセスユニットから設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを生成する加算手段と

を有する

ことを特徴とする情報処理システム。

【請求項24】

画像データの表現形式を変換する変換部と、前記画像データの、前記変換部により変換された表現形式を逆変換する逆変換部とを構成要素として含む情報処理システムにおいて、

前記変換部、または、前記変換部以外の装置により、

少なくとも第1のアクセスユニットと第2のアクセスユニットから構成される画像データが元データとされて、

前記第1のアクセスユニットから、1以上の第1の領域が設定され、

設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、処理対象の前記第1の領域についての、前記第2のアクセスユニットに対する動きベクトルが推定され、

設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定され、前記第2のアクセスユニットにおける、処理対象の前記第1の領域の位置から、処理対象の前記第1の領域についての前記動きベクトルに対応する分だけ離間している第2の領域を抽出し、処理対象の前記第1の領域と抽出された前記第2の領域との差分が算出され、その結果得られる差分領域が、処理対象の前記第1の領域に対応する第1の処理領域として設定され、その第1の処理領域から複数の処理データが設定され、

設定された1以上の前記第1の処理領域のそれぞれが1以上の分析対象のそれぞれに設定され、1つの前記第1の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を変換するための基底が、分析対象毎に個別に生成され、

設定された1以上の前記第1の処理領域のそれぞれが処理対象に1つずつ順次設定さ

れ、処理対象の前記第1の処理領域が分析対象として設定されたときに生成された前記基底を利用して、処理対象の前記第1の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式が変換され、その結果、表現形式が変換された複数の前記処理データから構成される1以上の第2の処理領域のそれぞれが生成され、

生成された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれに対して、それぞれの生成に利用された前記基底と、それぞれに対応する前記動きベクトルとがそれぞれ対応付けられて重畠されたデータが、入力データのうちの少なくとも一部として前記逆変換部に入力され、

前記逆変換部は、

前記入力データから、1以上の前記第2の処理領域のそれぞれと、それぞれに対応づけられた前記基底のそれぞれと前記動きベクトルのそれぞれとを分離する分離手段と、

前記分離手段により前記入力データから分離された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、前記分離手段により前記入力データから分離された前記基底のうちの処理対象の前記第2の処理領域に対応付けられた基底を利用して、処理対象の前記第2の処理領域を構成する複数の前記処理データのそれぞれの表現形式を逆変換することで、1以上の前記差分領域のそれぞれを生成する逆変換手段と、

前記分離手段により前記入力データから分離された1以上の前記第2の処理領域のそれぞれを処理対象に1つずつ順次設定し、前記第2のアクセスユニットにおける、処理対象の前記第2の処理領域の位置から、前記分離手段により前記入力データから分離された前記動きベクトルのうちの処理対象の前記第2の処理領域に対応付けられた前記動きベクトル分だけ離間した領域を、処理対象の前記第2の処理領域に対応する前記第2の領域として抽出する抽出手段と、

前記逆変換手段により生成された1以上の前記差分領域のそれぞれと、前記抽出手段により抽出された1以上の前記第2の領域のうちの対応する1つとを加算することで、前記第1のアクセスユニットから設定された1以上の前記第1の領域のそれぞれを生成する加算手段と

を有する

ことを特徴とする情報処理システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】データ変換装置および方法、データ逆変換装置および方法、情報処理システム、記録媒体、並びにプログラム

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0051

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0056

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0057

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0058

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0061

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0062

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】削除

【補正の内容】